

事業概要表(草の根協力地域活性化特別枠)

I. 事業の概要	
1. 対象国名	キルギス共和国
2. 事業名	キルギス国地域におけるフードバリューチェーンを活用した実践的な農業教育プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	キルギスの農業部門はGDPの約14%を生み出す重要産業であり、人口の約60%が農村部に居住している。しかし、現在は農地の私有化による小農化が進んだ結果、各農家の栽培技術の低下や農産品物流システムの崩壊を招き、生産—加工—販売—輸出の農業バリューチェーンが分断されるなど、農業セクターの発展が妨げられている。加えて、若者の都市部流出による農村地域の弱体化が深刻化しており、地域コミュニティの活性化も必要とされる。上述の課題を受けて、本事業では農畜産物の付加価値化およびバリューチェーンの重要性を理解した農業人材を育成するための教育機関の能力強化に取り組む。
4. プロジェクト目標	農業技術カレッジにおいてフードバリューチェーンを活用した実践的な教育活動が行われる。
5. 対象地域	首都ビシュケク
6. 対象地域を管轄する大使館および領事館	在キルギス日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	【直接受益者】キルギス国立農業大学付属農業技術カレッジ教員・実習関係者 100名(常勤40名・非常勤60名)、生徒20名 【間接受益者】カレッジ全生徒 670名
8. 事業活動	<p><u>I. カレッジの教員が実践的な農業教育について理解する</u></p> <p>I-1. ベースライン調査を実施する(オンライン) I-2. 土幌高校の農業教育を紹介するオンラインセミナーを実施する I-3. 土幌高校の取り組み、農業教育を学ぶ研修を行う(本邦研修) I-4. エンドライン調査を実施する(現地派遣)</p> <p><u>II. 土幌高校の「志プロジェクト(志 Lab)」の活動モデルを応用し、両校の生徒により地域資源を生かした商品開発が行われる</u></p> <p>II-1. 教員を中心とするプロジェクトチームをつくる(オンライン) II-2. 指導計画を作成する(オンライン/本邦研修) II-3. 生徒を中心とするプロジェクトチームをつくる(オンライン) II-4. 土幌高校の指導のもと、両校が商品開発を行う(現地派遣/本邦研修/オンライン) II-5. 両校の生徒による商品開発の成果発表会を行う(現地派遣/オンライン)</p> <p><u>III. カレッジにおける実践的な農業教育の手順書(指導法)が作成される</u></p> <p>III-1. プロジェクトチームが、カレッジの教員に活動報告会を行う(現地派遣) III-2. 教員間で実践的教育についての意見交換を行う(現地派遣) III-3. カレッジと実践的な農業教育の手順書(指導法)を作成する(現地派遣/オンライン) III-4. 教員に手順書を配布しフィードバックを集約する(現地派遣/オンライン) III-5. 改善点を反映させた手順書(指導法)の最終版を作成する(オンライン)</p>
9. 実施期間	2021年11月～2024年10月(3年)
10. 事業費概算額	35,019千円
11. 事業の実施体制	日本側実施団体: 土幌町、株式会社 CheerS 現地カウンターパート: キルギス国立農業大学付属農業技術カレッジ
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	土幌町(指定団体: 株式会社 CheerS)
2. 活動内容	土幌高校(町立農業高校)との連携、特産品開発・販売、人材育成、観光振興事業他